

大阪ラバテック株式会社

汎用から特殊ゴムまで対応 顧客目線で製品提供

- 海外発注可
- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- オンライン技術
- メイドインジャパン
- 試作可
小ロット
- 量産対応



真空成形機で、不良を大幅に削減

主な事業内容

汎用から
高精度ゴム成形品の製造

主な取引先(納入先)

住設機器、電子機器、自動車部品、
産業機械などのメーカー

主な製品

フッ素ゴム・特殊配合ゴム成形品、
防振ゴム、各種シール用パッキン

業務内容

**高付加価値ゴムを
低価格で提供**

大阪ラバテックは、汎用から高精度のゴム製品を取り扱う。量産品から特殊材質や複雑な形状の製品まで、様々な製造実績を持つ。創業当初は汎用ゴムのみを製造・販売していたが、価格競争になることを予測。高い付加価値のある、フッ素ゴムに着目した。耐熱、耐薬品性を兼ね備え、お風呂場の給湯装置用パッキンなど、表には見えないところで活躍するフッ素ゴム。今ではフッ素ゴムをはじめ、塩素に強いゴムなど、特殊なゴムも開発・製造する。「高付加価値だからこそ安く」という思いから、設備投資やコストダウンに尽力し、低価格でフッ素ゴムを提供することを実現している。

強み 独自技術で不良品と 材料ロスを削減

徹底的な「お客様ファースト」の考えで不良品や材料ロスを削減し、低価格で提供する。一般的に複数の製品を一度に成形する際は、バリを薄くしすぎると製品を取り外すときに破れてしまう。不良の原因になるおそれがあることからリスクを避け、バリの厚さ

挑戦 自動化でさらなる 品質の安定化へ

に余裕を持った設計をするメーカーが多い。しかし、同社は独自のノウハウでバリが薄くても、破れにくくできる技術がある。それを生かして、設計時にバリを極力抑えるように設定している。結果として、コストを安く抑えることができる。さらに真空機械を導入。ゴムの熱成形工程で不要な穴が開くことを防止して、不良発生率を従来の20%から2%まで減少させた。

力を加えると変形するゴムの製造を完全に自動化することは、難しい課題だ。例えば外観検査では、良品・不良品とも判別がつかない「グレー」が発生しやすい。同社はそのような中でも、機械化へ挑んでいる。平成23年10月に、4枚の金型が自動で出し入れする真空自動成形機を特注して、導入。中間の金型を必要とする複雑な形状の成形工程でも、自動化を実現した。従来は上中下の3枚構造の金型成形品だが、自動化の限界だった。現在はAI（人工知能）や機械学習によって、検査時の「グレー」の発生を抑える方法を模索。さらなる品質の安定化を図りながら、自動化への挑戦を続けている。

社長あいさつ



代表取締役
岡村 洋臣さん

当社は、汎用ゴムから特殊ゴムまで幅広く対応しています。お客様の困りごとを解決してきたノウハウを生かし、材料のカスタムも請け負っています。今後も先代から引き継いだ「高機能のモノを安く」の考えは継続しつつ、「停滞は下降のはじまり」を信条に、常に新しいチャレンジをしています。

主な保有設備

- ゴムロール機 18inch 1台
- ゴム自動裁断機 1m幅 2台
- ゴム自動成形機 50t、100t、200t 11台
- 真空自動成形機 200t PANSTONE製 6台
- 4面分解真空自動成形機 200t PANSTONE製 4台

大阪 03

ISO 9001

住 所／〒580-0031
松原市
天美北4-4-11
T E L／072-334-2039
F A X／072-332-8059
創 業／昭和47年4月
設 立／平成元年9月
資本金／1,000万円
従業員／26名



外観検査の様子



材料の状態を確認



<http://www.rabatec.com/>